

市長と語るう地域懇談会 記録

【日時】平成26年11月21日(金)午後6時30分～8時50分
 【会場】北の峰コミュニティセンター
 【対象地域】北の峰、学田、御料
 【出席者】22人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
経済部	<p>人口増は、職場や家庭がうまくいっているかが問題。環境整備の問題は一自治体では難しい。 農業担い手センターで受入れるのは、ミニトマトだけと聞いている。来た人が自由に作物を選べないのか。</p>	<p>【経済部長】富良野市では10年間で9名の新規就農者がいる。農業に憧れているが、資金がない、いろいろな作物をやって駄目になるでは困る。新規就農者が、安定した経営を行なうためにミニトマトとしている。 農業担い手センターでは、後継者や雇用就農の研修、農業体験の実施を行なう。</p>
保健福祉部	<p>新しい保育所の開設がなぜ6月なのか。</p>	<p>【保健福祉部長】平成27年3月まで建設工事がかかる。建物の後に園庭工事を4～5月で実施する。クラス担任等が代わらないよう児童に影響がでないように配慮していきたい。</p>
経済部	<p>農業研修生への対応が農家によってバラツキがある。農家が一定のレベルで対応しなくては駄目ではないか。</p>	<p>【経済部長】研修を受入れる地域でルールづくりをしていく。労働力としてではなく、研修が目的であるが、農家にも一定の支出が伴う。 【市長】農家が意識改革を行なわないと駄目。1対1ではなく、地域や集落として受入れないといけない。 農業担い手対策協議会が1つにまとまって同じ方向に進んでいくことが大事。 新規就農者が自立していく上では他の作物にも取り組まないといけない。そこは行政やJAが協力していかなくてはならない。</p>
経済部	<p>人口減によってコミュニティが維持できなくなる。</p>	<p>【市長】人口が2～3万人は住みやすい環境であり、田舎で暮ら</p>

総務部	<p>いろいろなものが後継者不足。(農業、観光など) 行政が何をするのか、富良野市が何をできるのか。 現状の農業と観光をどう守るのか。 いかにいろいろな人が、まちづくりに関わるか。 国が地方にどういった施策をするかの前に、地方が国に訴えていく必要がある。</p>	<p>す状況になってくるのではないか。 地方に居ても仕事ができる状況づくりが必要である。 交流人口を増やすことが、今後の定住人口を増やす一員になる。 交付税措置のあり方を国は考え直さなくてはいけない。 中央官庁が東京に集中しているが、下部組織等を地方に分散させる必要がある。 国、道、市の役割を明確にしていく必要がある。</p>
経済部	<p>人口減少の取組は5～10年遅れている。 各産業の人たちが努力しなくてはけない。 富良野には何でも作れる土地がある。 有力な企業を誘致しなくては駄目になる。 官民が一体となって取り組む必要がある。</p>	<p>【市長】農地をどう活用するか。(農家がどう集積を図るか、農業生産法人による活用、企業との連携)農地取得に時間がかかるのであれば。制度変更など市として取り組めるものはやっていく。富良野として農地がどのくらい面積が必要で、必要なくなった面積をどう活用するか考えていかないといけない。</p>
教育委員会	<p>旧樹海東小学校はどの程度で売ってもらえるのか。</p>	<p>【副市長】旧樹海東小学校は、売ったり、貸したりする状況になっている。希望があれば、財政課に問い合わせたい。</p>
経済部	<p>J Aふらのと富良野市の関係はうまくいっているのか。</p>	<p>【市長】J Aの昔は営農指導が中心であったが、今は販売や金融などJ A自体が経営体をつくっていく状況にある。 農家を守っていく、育てていくことに行政は取り組んでいる。 行政は農業の専門職を育てていく。 J Aと行政の役割分担等、共通認識を持つ必要がある。</p>
経済部	<p>農業の基本を身につけるには農業大学校がある。 農業の実践を身につけるために農業担い手センターの手法もある。ワインぶどうの作付面積が減っている状況の中、農業担い手センターでの取り組みが必要ではないか。</p>	<p>【経済部長】ミニトマトの単作ではなく、アスパラやワインぶどうも想定している。メイン作物をしっかりと取り組み、2作目を考えていく。ワインぶどう研修もする予定である。 緑峰高校農業特別専攻科との連携も協議している。</p>
建設水道部	<p>なまこ山で落石があり、看板も設置してもらったが、2線川付近</p>	<p>【建設水道部長】なまこ山は現在治山事業を行っている。北海道</p>

<p>総務部</p>	<p>で遊んでいる子どもがおり、危険である。看板を設置しても小さく、草で見えない状況である。</p> <p>空き家の住宅処理の依頼が多い。(山部・東山) 処理しても土地代にならない。借家にする場合もある。 行政として対応する状況にあるのか。 北の峰にも2棟、危険家屋がある。 事故があったときに誰が責任をとるのか。</p>	<p>管轄の河川であり、看板設置など要請していく。 【市長】危険箇所であれば、市も一緒になって対応したい。</p> <p>【総務部長】国で空き家対策法が可決されたので、市としても条例の制定を検討していく。3年前に危険家屋が14棟と把握している。使える家屋の現状把握や利用方法、街中居住のための対策を検討していく。 【市長】今あるアパート等を低料金で貸す仕組みができるか業界と協議していきたい。個人情報、所有権等の問題もあるが現場を見てできる対応をしたい。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>鳥沼公園はいろいろな勉強に良い場所。 魅力ある作りにしてほしい。(鳥・木・花の案内板等)</p>	<p>【教育長】生涯学習センターを中心に活動を行なっているが、更なる充実に努めたい。案内板等は、公園管理部局等と協議し対応を考えたい。</p>
<p>総務部</p>	<p>交通安全対策について、一旦停止の設置が少ない。(交通量の多い箇所や幹線道路にでる場所)</p>	<p>【総務部長】現地を確認しながら、公安と協議したい。 【市長】・標識等、市でできるものは対応したい。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>旭川十勝道路の進捗状況は。</p>	<p>【建設水道部長】富良野道路の北の峰トンネルは来秋に貫通する予定で、その後、付帯工事等を行ない開通となる見通し。富良野北道路は、用地買収が進んでおり、また橋梁工事も始まっている。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>除雪体制が変わったが、地域の業者も変わるのか。</p>	<p>【建設水道部長】除雪体制は、担当地区のノウハウを持った同じ業者が行なう。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>公営住宅の街路灯や階段・廊下の電気などの共益費の取扱いを家賃に含めるなど対応はできないか。</p>	<p>【建設水道部長】共益費は家賃とは違う性質のもの、現在、管理人が集めている。共益費などの支払いは福祉施策などと合わせて考えなければならない。</p>

建設水道部	協会病院に行くには2つの方向しかなく、不便である。他のアクセス方法の検討は。	【建設水道部長】車の往来については、過去に軌道のアンダーやオーバーで通すことも検討し、莫大な建設費がかかることから、平面交差をJRと協議したが、線路本数が多く断念した経緯がある。
保健福祉部	医師確保のため、旭川医大に修学資金をあてているが、これを他の大学に広げていくことは考えているか。出張医ばかりだと信頼度が低いのではないか。	【保健福祉部長】現在、出張医は旭川医大から来ても多く来てもらっている状況であり、旭川医大との連携は重要で他の大学は考えていない。臨床研修を富良野でもらうことで、富良野に関心を持ってもらい、将来は富良野に定着してもらえるよう努めていきたい。
総務部	人口減少問題は、ワークショップやいろいろな取り組みが必要であり、市民を巻き込んだ議論をして欲しい。子どもたちが、どう明るく暮らせるかは大人の責任である。	【市長】今回の地域懇談会のテーマを人口減少問題に設定したのは、市民がどう考えているか知るため。行政が主体となり、市民からの意見等をどう反映させていくが検討していきたい。